

羊ヶ丘便り

令和8年3月26日発行
第54号

雪害ともいえるほどの大雪に見舞われた札幌でしたが、春の訪れを感じる季節になりました。保護者の皆さまにおかれましては、お元気でお過ごしでしょうか。いよいよ当園で生活しております子どもたちも、幼稚園入園、小学校、中学校、高校、進級と準備に慌ただしい日々を送っております。また、当園を巣立つ子どもたちは、不安と緊張の中にも希望に胸膨らませ、大学進学・就職と社会という大きな環境に進んでいくことになります。それぞれの子どもたちが、目標をもち成長していくことが出来るように、保護者の皆さまと共に子どもたちの成長を楽しみにしていきたいと思っております。4月からユニットや担当職員の変更があります。各担当職員より保護者の皆さまにご連絡がありますので、よろしくお願い致します。

羊ヶ丘養護園 施設長 大畑和子

当園を巣立つ3名の卒園生の言葉

3月7日(土)に卒園・卒業を祝う会を行いました。今回の卒園生は、幼児さんから長く園で生活してきた子どもも多く、小さかった頃の思い出を振り返り、「頑張ります!」という決意を込めたメッセージを語ってくれました。豪華な夕食を各ユニット・ホームの仲間と囲み、みんなでお祝いしました。

おめでとう!

僕は13年間養護園で生活をしました。養護園での生活はいろいろなことがありましたが卒園を迎えた今、思い返してみると楽しかった思い出がたくさんありました。ここを出たら就職して社会人となるので、仕事も含めていろいろと頑張りたいと思っています。皆さんも頑張ってください。今まで僕を支えてくれて本当にありがとうございました。

M,H

園での生活は人との関わりや日常の中で、自分自身について考える時間が増えました。これまで周りの方々にご迷惑やご心配をお掛けしてしまったこともあり、申し訳なく思うとともに、支えてくださったことへの感謝の気持ちを強く感じています。環境や状況によって日常の見え方が変わる中で、自分にとって心地良い生活は何か、そして自立に向けてどのように過ごしていくべきか少しずつ考えるようになりました。これからは自分のペースを大切にしながら、できることを積み重ね、自立に向けて進んでいきたいと思っております。 H.S

私は2才から養護園で生活をしました。昔は生意気で、先生にも同じユニットの児童にもたくさん迷惑をかけてきましたが、ここまで支えて下さりありがとうございます。私は4月から社会人になります。中学・高校では学校を休んでしまうことが多くありましたが、4からは休むことがないように体調管理に気をつけてお仕事頑張ります S.M

行事予定

4月	5月	6月
4月8日(水) 小学校 始業式 4月9日(木) 中学校 入学式 4月10日(金) 幼稚園 入園式 4月11日(土) 入学を祝う会	5月17日(日) 野外レク(招待) 5月22日(金) 小学校 遠足	6月6日(土) 小学校体育館発表会 
まだ、各学校から年間行事が発行されていないこともあり、分かってる行事のみ掲載しております。今後の予定は各ユニット・ホームより御連絡いたします。		

春から新生活を迎える子どもたち

今年度、高校生以外にも中学校や小学校を卒業した児童がいます。中学生は4名、小学生は3名、幼稚園を卒園したのは1名です。この子たちも春から新しい環境での生活が始まるので職員でサポートしていきたいと思っております。そんな卒業生らを代表して中学生からメッセージをいただいたので載せたいと思います。

私は、4月から高校生になります。私が中学校で頑張ったことは勉強です。私は勉強が苦手でテストが近くなっても全く勉強をしませんでした。ですが、3年生後期からは苦手な教科でも自分から積極的に勉強することを心がけました。そして、私が高校で頑張りたいことは、時間の管理です。中学校では時間を有効活用できなく、テストも3日前から勉強したり効率よく動いたりすることができませんでした。

反省を踏まえ、高校からは青春するためにも、時間を見ながら行動することを心掛けたいです。高校では、小中学校とは違い義務教育を終え一歩社会へと近づきます。ですので、高校生という自覚を持ち、日々の言動に責任を持って生活していきたいと思っています。 ~夢に燃えている春からJKになる子~

太陽グループ様 スキーの招待ありがとうございました!

3月15日(日)に太陽グループ様より、スキーの招待があり、児童と職員計30名以上でばんけいスキー場へ出かけました。当日、札幌ドームでは嵐のLIVEがあり、羊ヶ丘養護園の子どもたちは、嵐の熱気に負けないくらい、春めいた陽気の中、スキーを楽しんでいました。ばんけいスキー場には、ミラノ・コルティナオリンピックで銅メダルを取ったハーフパイプの山田琉聖選手への「おめでとう」横断幕があり、オリンピックの興奮を思いだしながら、今シーズン最後になるスキーを思う存分楽しむことができました。転んでは立ち上がり、雪まみれになりながらも、笑顔いっぱいの日を子どもたちと職員が共に過ごすことができました。ありがとうございました。

